

令和元年度  
市町村犯罪被害者等支援施策担当者会議の開催

令和元年度「市町村犯罪被害者等支援施策担当者会議」を開催し、県と市町村、関係団体が途切れのない支援を目指し、連携強化を図りました。

1 開催日時

令和元年5月28日（火） 午後1時30分から午後4時まで

2 開催場所

島根県市町村振興センター 6階 大会議室

3 内容

(1) 島根県環境生活総務課長挨拶

会議の冒頭、島根県環境生活総務課の日下課長より、「被害者や御家族は、犯罪によって生命・身体・財産などへの直接的な被害を受けるだけでなく、その後においても精神的な後遺症や治療費の負担など、様々な問題に直面している。現状を知り、被害者等の心情に配慮したうえで関係機関が連携して、途切れることのない支援を行っていく必要がある。」旨挨拶をしました。

(2) 報告事項

「地方公共団体における被害者支援体制」「警察による犯罪被害者支援の現状」「島根県女性相談センターの相談状況及び対応」「島根被害者サポートセンターの活動状況」について報告がありました。

(3) 講演

本年は、犯罪被害者遺族の松本里奈氏を講師に招き、「犯罪被害者遺族となって～これからを生きていくために～」と題して講演をしていただきました。

松本様からは、平成24年12月、広島県内において、突然の交通犯罪で大黒柱である夫を失われました。裁判では、被害者参加制度を利用して家族の声を加害者側に伝えて真実の解明を求め続けられ、平成27年5月より、遺族活動として地域社会で講演活動をされています。

今回は夫を失われた御自身の経験をもとに、被害者の視点に立った被害者支援の重要性、行政及び窓口担当者に求めることなどについて講演をしていただきました。

松本様、貴重な御講演を本当にありがとうございました。



**【島根被害者サポートセンター森山専務理事による説明】**



**【松本里奈氏による講演】**

島根県では、犯罪被害者等支援について、今後も県民の皆様の関心を高めるため、各種広報啓発活動をはじめ様々な取組みを推進していきますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。